



2020

エリアイベント 実施報告書

豊かな“宇和海”海の恵みでつながろう

2020年11月15日（日）in あいなんかわうそ村海の駅
2020年11月22日（日）in 愛媛県立長浜高校



1) エリアイベント開催概要

イベントタイトル	海と日本プロジェクト Sea級グルメスタジアム in 愛媛
イベントの ねらい・目的	次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とながらつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として開催。高校生による小学生を対象とした授業を通して、地元の海の現状と課題を伝えます。
日程	①学び・体験 2020年11月15日（日） ②開 発 2020年11月22日（日）
開催場所	①学び・体験 あいなんかわうそ村海の駅 ②開 発 愛媛県立長浜高校
参加人数	愛媛県立長浜高校 7名 うわじま圏域子ども観光大使 10名
主催	海洋キッズスクール実行委員会
協力	愛媛県立長浜高校、うわじま圏域子ども観光大使、 田中蒲鉾本店、向田水産、あいテレビ

2) カリキュラム内容

テーマ	豊かな“宇和海” 海の恵みでつながろう
開催日時	【座学・体験】 2020年11月15日（日）13:30-16:00 【開 発】 2020年11月22日（日）13:30-15:30
開催場所	【座学・体験】 あいなんかわうそ村海の駅 【開 発】 長浜高校（小学生はオンライン参加）
参加者	長浜高校生徒（7人） うわじま圏域子ども観光大使（10人）※宇和島市内の小学生
講座次第	1.開講式 （1）開会挨拶 （2）イベント概要説明 ・日本財団「海と日本PROJECT」について ・企画実施概要 2.授業 （1）座学（11/15実施） （2）鯛のさばき方体験、 海の生き物ふれあい体験（11/15実施） （3）商品開発（11/22実施） 3. 閉講式
講座内容	宇和島市の眼前に広がるのは、国立公園に登録されている“足摺宇和海国立公園”。北は佐田岬半島、南は日振島などの島々や由良半島に囲まれています。沿岸は変化に富み複雑な構造のリアス式海岸で、全国でも屈指の景勝地です。 こうした地の利を生かして、地域の人々は沿岸の入り江で真珠やハマチ・真鯛などの養殖漁業や、海の幸を利用した水産加工業を営み、海と生活を共にしてきました。そのような地域と海の関わりを、高校生が小学生に講義し、全国に宇和海の魅力をPRするための商品開発を行います。

3) スケジュール

★ 11/15 (日) まなび・たいけん 13:30～16:00

時 間	項 目	備 考
9:30	スタッフ 会場到着	
11:30	準備・リハーサル完了	※スタッフ & 高校生 会場内の飲食店で昼食
13:00	イベント 受付開始	
13:30	イベント 開始 ①座学授業 (宇和海の海洋環境) ②体験授業	②は「鯛のさばき方体験」と「海の生き物ふれあい体験」 ※班分けして密を避ける
16:00	イベント終了	

★ 11/22 (日) かいはつ 13:30～15:30

時 間	項 目	備 考
9:00	スタッフ 長浜高校到着	
11:30	準備・リハーサル終了	11:30-12:45 休憩・昼食
13:00	小学生 zoom入室 → テスト	通信確認 & zoomテスト
13:30	開会式 ①「座学・体験」振り返り ②本日の授業について	
13:40	長浜高校水族館 紹介	
14:00	「開発」授業	グループディスカッション20分 発表 20分 全体ディスカッション 20分
15:10	開会式 ①小学生の感想発表 ②関係者挨拶 ③オリジナル商品の販売について	

4) イベント内容

イベント1 内容

【座学】 11/15 (日) 13:45～14:15
In あいなんかわうそ村海の駅
【座学テーマ】
～海の生き物から学ぶ 海の環境変化～



海の生き物の生態、自分たちの海「宇和海」を題材に、クイズ形式で進行了ました。

水族館部らしい「科学的」な要素を盛り込み、宇和海の特徴や魅力、宇和海の抱える環境課題、そして宇和海に棲む海の生き物の生態を学んでもらいました。

小学生がこの後の体験授業も含め、自分自身が“見て”、“聞いて”、“触って”、“調べて”、自分たちの海の課題を“自分事化”できるように、工夫をしながら授業を進めました。

イベント2 内容

【体験】 11/15（日）14:15～15:30
In あいなんかわうそ村海の駅

【体験内容】

- ①海の生き物ふれあい体験
- ②真鯛のさばき方体験



会場内の大型水槽を用いて、宇和海に棲息する“海の生き物の生態”について、高校生が体験授業を行いました。長浜高校の水族館からも、高校生が普段飼育しているクラゲやカクレクマノミなどを連れてきました。子どもたちに見て、触れて、海の生き物と共生することの大切さを教え、海洋環境を守ることの大切さを学んでももらいました。

また、愛媛県の県魚でもあり、宇和海でもたくさん獲れる“真鯛”を捌く体験を行いました。地元の飲食店の料理人の方を先生に、さばき方を教わりました。愛媛県のオリジナル商品にも“真鯛”が使われています。

イベント3 内容

【開発】 11/22（日）13:30～15:30
In 愛媛県立長浜高校
※小学生はオンライン参加

【授業内容】
①長浜高校水族館紹介
②グループディスカッション



長浜高校から高校生がオンライン授業を生配信し、小学生は各家庭からテレビ会議形式で参加しました。

長浜高校の水族館紹介に続き、オリジナル商品「鯛じゃこ天」のネーミングならびにパッケージデザイン案を、グループに分かれてディスカッションしました。

各グループから持ち寄った様々なアイデアを全体で話し合い、子どもたちの“宇和海に対する想い”をPRできるネーミング、デザインを決定しました。

達成状況

今年度は、愛媛県立長浜高校と一緒に取り組みました。

水産高校でなく普通科高校ですが、日本でも珍しい「水族館部」を有する高校で、その活動は全国的にも有名です。地元の海に関する研究も普段から行っており、アカデミックな視点で小学生へ“まなび”を提供することができました。

また、“たいけん”授業では、高校生による海の生き物への理解を深めるカリキュラムに加え、地元の水産会社の協力を得て、課題魚でもある「鯛」のさばき方体験を合わせて実施することができました。

さらに、“かいはつ”では、コロナ感染状況の悪化もあり、オンラインでの実施となりましたが、所期の目的どおり、“オリジナル商品”のネーミングとデザインを決めることができました。

そのパッケージデザインには、「地元の豊かな海を知り、愛着を持ち、そして自分たちの海の魅力を全国にPRしたい」という、子どもたちの想いを込めることができました。

オリジナル商品については、全国で開催された「海マルシェ」で販売されたほか、楽天ECサイトでの販売が行われました。

そして、「海マルシェ in えひめ」の実施会場であった道の駅のお取り計らいで、イベント終了後（12月末）から、愛媛県のオリジナル商品「鯛白媛」の継続販売をいただいております。（21年3月末終了予定）

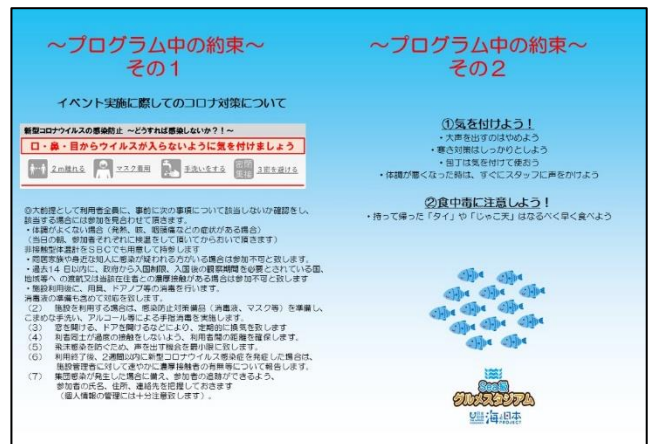
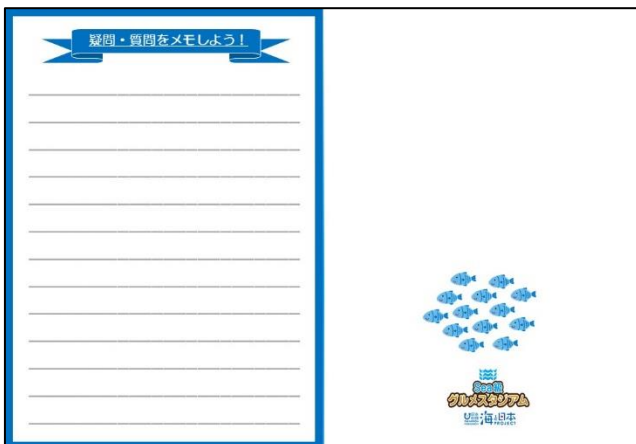
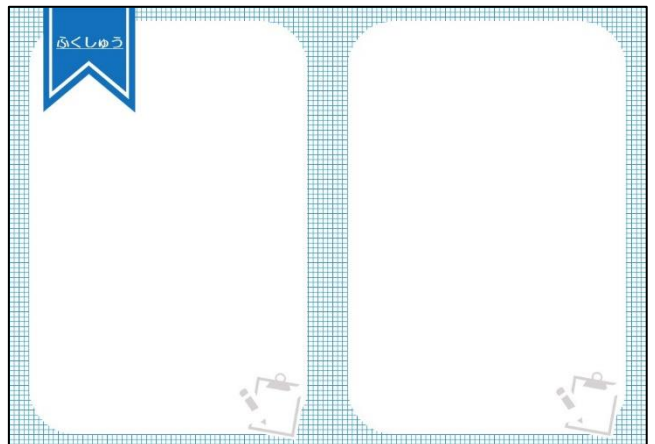
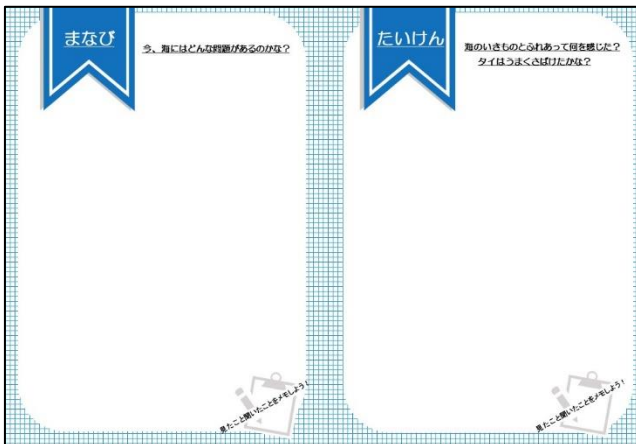
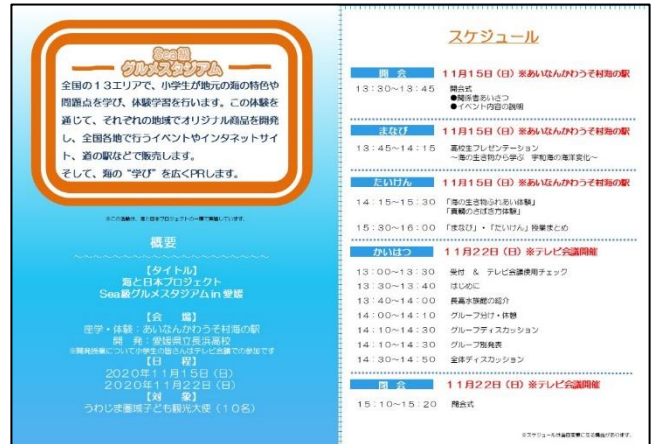
本イベントに参加いただいた方皆様に、「海と日本プロジェクト」と「Sea級グルメスタジアム」に込めた我々のメッセージを十分に理解いただき、今後の活動に影響を与える事業が開催できたものと考えております。

Sea級 グルメスタジアム



海と日本
PROJECT

学習ノート



Sea級 グルメスタジアム

日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

海と日本
PROJECT

オリジナル商品 「鯛白媛」（たいしろひめ）



海マルシェ

12月28日（月）10：00～15：00
In 道の駅みま



愛媛県立長浜高校の生徒7名が参加し、「道の駅みま」に来場したお客様に対して、愛媛県のオリジナル商品「鯛白媛」をはじめ、全国のsea級グルメスタジアムオリジナル商品をPR販売しました。

イベント終了後12/29（火）以降は、「道の駅みま」にて販売スペースを確保していただき、「鯛白媛」を継続販売します。

※3月末まで継続販売を行う予定です

報道一覧

① 「Nスタえひめ」 20.11/16 (月) 放送 「まなび・たいけんイベント」



② 「Nスタえひめ」 20.12/28 (月) 放送 「海マルシェ in えひめ」

